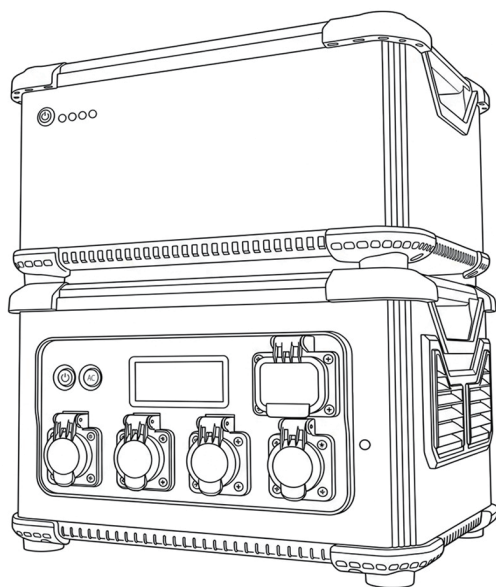


防雨型ポータブル電源拡張式

ヘビーレイニーパワー徳永

LPE-EX3200LW (インバーター+バッテリー)



目次

安全上のご注意	1
保守上のご注意	2
バッテリー使用・保管・廃棄のご注意	2
仕様	3
梱包内容	3
サイズ	4
各部の名称	5
LEDディスプレイの表示	6
充電方法	7
使用方法	9
保護機能について	12
アース端子の必要性【パススルー時】と接続方法	13
オプション	14
アフターサービスと保証	巻末

このたびは、日動工業の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく使用してください。

使用者および周囲の方への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●取扱いを誤った場合に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	警告	取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。
	注意	取扱いを誤った場合に、人が軽傷を負うおそれ、あるいは物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

	禁止	してはいけないこと。
	強制	しなければならないこと。

警告



●絶対に改造および分解はしない。お客様自身でのバッテリーの交換・修理はできません。修理などのご依頼は、お買い上げの販売店および当社へご相談ください。故障・火災・感電・ケガの原因になります。



●濡れた手で本体や接続するケーブルに触らない。感電・故障の原因になります。感電・故障の原因になります。



●本体や各種ケーブル・プラグは絶対に水洗いしない。感電・故障の原因になります。



●火のそば、暖房器具の近く、直射日光が当たる場所、炎天下の車内など、高温になる場所では使用・保管しない。また、車内に長時間放置しない。発火・破裂・火災・故障の原因になります。

●家庭の分電盤や屋内配線に本製品を接続して給電しない。また、そのための配線工事を行わない。感電・火災の原因になります。
●壁の内部など、電線が通っている可能性がある場所を切断・穴あけする電動工具には使用しない。電線に触れると感電の原因になります。
●医療機器や、データサーバー・ワークステーションなどの重要な事業用機器には給電しない。

本製品は無停電電源装置(UPS)ではありません。給電が途切れると、人命や財産に関わる被害が生じるおそれがあります。

●冠水・浸水のおそれがある場所では、使用・充電しない。本製品は防雨型(IP65)です。火災・感電・故障などの原因になります。

●雨の中や水のかかる場所では、防雨カバーを開けたまま使用・充電しない。

使用しない差込口のカバーは閉じてください。浸水による火災・感電・故障の原因になります。

●雨の中や水のかかる場所では、屋内用の機器を接続しない。

接続機器には、アース付き2P防雨プラグを備えた防雨型製品を使用してください。漏電による感電の原因になります。

●アルミニウム・マグネシウム・亜鉛・チタンなどの爆発性粉じんや、可燃性ガス・蒸気が存在する場所では使用しない。

爆発・火災の原因になります。

●灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料など、引火性・爆発性のある物質の近くでは使用しない。爆発・火災の原因になります。

●換気できない密閉された場所では使用・充電しない。

本体の温度上昇や、バッテリーに異常が生じた際に発生するガスの滞留により、火災の原因になります。

●布や紙などをかぶせたり、排熱口をふさいだりしない。火災の原因になります。

●落とす、投げするなど、強い衝撃を与えない。破裂・発火・火災・故障の原因になります。

●接続機器の消費電力の合計が、定格出力(通常時1600W・パルス時・EPS機能使用時1200W)を超える状態で使用しない。

火災・焼損・故障・短寿命の原因になります。

●LPE-EX3200B(バッテリー)は、LPE-EX3200(インバーター)以外には接続しない。故障・火災の原因になります。

●硬貨・ヘアピン・鍵などの金属類をコンセント部、ケーブル接続部、本体内に入れない。火災・感電・故障などの原因になります。

●硫黄成分や塩素など、腐食性の化学物質が存在する場所では使用しない。故障・破損・火災の原因になります。

※硫黄成分は一部の食品・薬品・自動車の排気ガスなどに、塩素はプール施設などに含まれる場合があります。

●トルエン・ヘキサン・アセトンなど有機溶剤が存在する場所では、使用・保管しない。樹脂や金属の腐食による故障・火災の原因になります。

●高温多湿の場所や、粉じん・ホコリの多い場所では使用・保管しない。火災・感電・故障の原因になります。

●3段以上に積み重ねない。段積みは2段まで使用してください。転倒・落下によるけがや破損の原因になります。

●傾斜した場所など、転倒・落下のおそれがある不安定な場所では使用しない。転倒などによる事故の原因になります。

●本製品を踏み台にしない。ケガ・故障の原因になります。



●清掃時や使用しない時は、必ず電源プラグを抜く。火災・感電の原因になります。

●異音・異臭・発煙・液漏れ・本体の膨らみなどの異常が生じた場合は、直ちに使用を中止し、換気したうえで当社へ相談する。
そのまま使用すると、火災・感電・事故の原因になります。

●水没した場合は使用を中止し、周囲に燃やさないものがない広い場所に置いて、販売店または当社へ点検を依頼する。
内部の損傷により、発火・感電の原因になります。

●パルス時・EPS機能の使用時は、必ずアース端子にアース線を接続する。漏電時に感電するおそれがあります。

●AC充電時は、定格15A(100V)のコンセントを単独で使用する。

たこ足配線などで他の機器と併用すると、火災・感電の原因になります。

●充電には、付属の充電ケーブル、または当社指定品(ソーラーパネル[LPE-SO200V3]・充電アダプター[LPE-EX-AD])を使用する。
指定品以外を使用すると、火災・感電・故障の原因になります。

●ペースメーカー・人工内耳・補聴器・除細動器などの医療機器を使用している方は、機器の製造元に使用上の制限を確認し、
本製品から十分な距離を保つ。電磁波が医療機器の動作に影響するおそれがあります。

●清掃時や使用しないときは、電源を切り、電源プラグと各種ケーブルをすべて取り外す。ショート・感電・火災の原因になります。

●電源プラグは定期的に乾いた布などで清掃する。ホコリなどが溜まると、湿気などによる絶縁不良からショート・火災の原因になります。

安全上のご注意

注意



- 使用環境温度（使用時-10℃～40℃、充電時0℃～40℃）以外の場所では使用・充電しない。
本体が冷えている場合は、適正な温度に戻してから使用・充電してください。バッテリーの損傷・故障・寿命低下の原因になります。
- コードやプラグを傷つけたり、傷んだまま使用したりしない。火災・感電の原因になります。
- ケーブルや延長コードを束ねた状態・巻いた状態で使用しない。また、ケーブルを引っ張ってプラグを抜かない。
発熱・劣化・火災の原因になります。
- 荷重や重い荷物などでコードを踏まない。
踏まれるおそれがある場所では、コードプロテクターなどで保護してください。ショートの原因になります。
- 油分や薬品が浮遊する場所、高周波の発生する場所では使用しない。部品の劣化や誤動作・故障の原因になります。
- EPS機能を、無停電電源装置（UPS）の代わりとして使用しない。
切り替え時に給電が一瞬途切れ、機器の停止やデータ消失の原因になります。
- 接続機器に適合しない周波数（50Hz／60Hz）で使用しない。機器の故障の原因になります。
- 小さなお子様の手が届く場所で使用・保管しない。感電・ケガの原因になります。
- ラジオ・テレビ・チューナーなどの近くで充電・給電しない。
雑音が入る原因になります。雑音が入る場合は、機器から離して使用してください。



- 各種ケーブルは確実に接続する。差し込みが浅い、またはぐらついていると、ショート・火災・感電・故障の原因になります。



- 充電中は周囲に燃えやすいものを置かず、異常がないかときどき確認する。発煙・発火時に被害が広がる原因になります。
- 持ち運ぶときは各種ケーブルをすべて取り外し、1台ずつ運ぶ。落下・ケガの原因になります。

保守上のご注意

※器具の点検・清掃時には安全のための注意喚起を再度ご確認ください。

- 器具の清掃について…汚れを落とす場合は、中性の洗剤を浸した柔らかい布をよくしぼって拭取り、洗剤が器具に残らないように乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなどの揮発性のものおよび酸・アルカリ性の洗剤などで拭いたり、直接殺虫剤をかけたりしないでください。変質による器具の破損や変色の原因になります。

バッテリー使用・保管・廃棄のご注意

ご購入後、初めてご使用になる時は必ず「初期充電」を行ってください。

- ご使用前・ご使用後は、必ず充電してください。
- バッテリーは使用しない状態でも少しずつ放電していきます。6ヵ月毎に必ず満充電にして保管してください。
放電状態で放置していると過放電となりバッテリーが劣化して充電ができなくなります。
- バッテリーは特性上、充電された状態でも、低温状況では使用時間が短くなります。
- バッテリーを充電する時は、事前に放電したり使い切る必要はありません。
- 充電中や使用中は、バッテリーが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 低温または高温の場所で充電すると十分に充電ができなかったり、バッテリーの劣化につながる場合があります。



Li-ion

使用済バッテリーを廃棄するときは

リチウムイオンバッテリーはリサイクルすることができます。
資源を有効に活用するため充電式電池リサイクル業者へお持ちいただくか、自治体の指示に従ってリサイクルにご協力ください。
（バッテリーは分解せずにそのままお出ください。）

■型式 LPE-EX3200LW

- タイプ 屋外用 保護等級(IP65)
- バッテリー リン酸鉄リチウムイオンバッテリー
- バッテリー容量 1587Wh (51.2V/31Ah) (最大7936Wh /バッテリー5台接続時)
- 連続定格 1600W
- 瞬間最大出力 3200W
- 出力 AC100V(50/60Hz)×4 (正弦波) (合計1600Wまで)
- 充電電原 AC100V DC12V/24V
- 充電時間 約2.5時間 (バッテリー1台)
- バッテリー接続数 5台まで
- バッテリー寿命 約2500回 (充放電)
- 保護機能 過負荷保護、短絡保護、温度保護
過放電保護、過充電保護
- 使用環境温度 (使用時) -10℃～40℃ / (充電時) 0℃～40℃
- 質量 インバーター:約14.9kg/バッテリー:約15.3kg

バッテリー接続数による使用時間目安 ※1600W(MAX)使用時

1台	2台	3台	4台	5台
約 0.8 時間	約 1.6 時間	約 2.5 時間	約 3.6 時間	約 4.2 時間

※使用時間は、気温、使用環境、接続する機器の消費電力などにより異なります。

※本製品は一般防雨型です。雨や水のかかる場所で使用できませんが、

冠水・浸水のおそれのある場所では使用しないでください。感電・火災・過熱・発煙などの原因になります。

※雨中や水のかかる場所で使用する場合は、接続する機器もアース付き2P防雨プラグを備えた防雨型製品をご使用ください。屋内用の製品は使用しないでください。

※バッテリーは特性上、満充電の状態でも、低温環境では使用時間が短くなる場合があります。

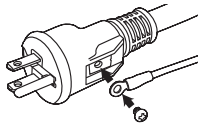
※バッテリー残量が少ない状態で長期間放置すると、バッテリーが劣化し、充電できなくなるおそれがあります。保管中も必ず定期的に満充電にしてください。

【リペアボックシングプラグについて】

断線したアース線の取替えが簡単にできます。

リペアボックシング用アースクリップ

型式：EC-RE175L

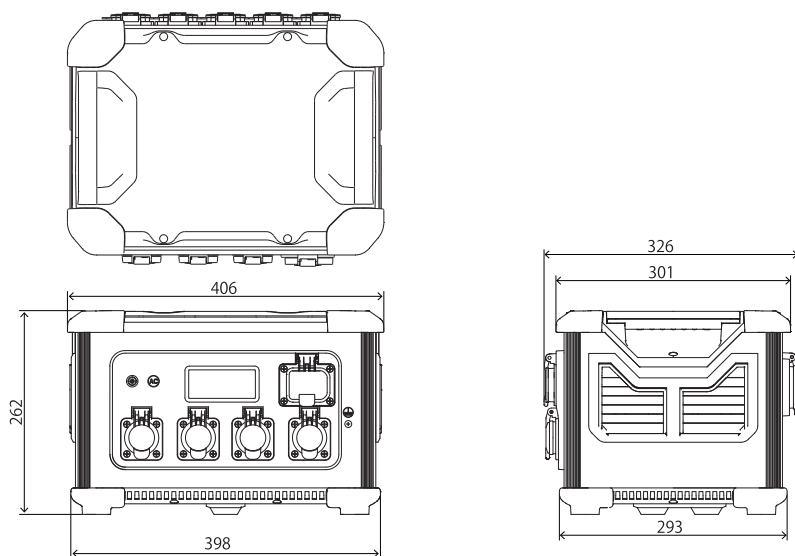


梱包内容

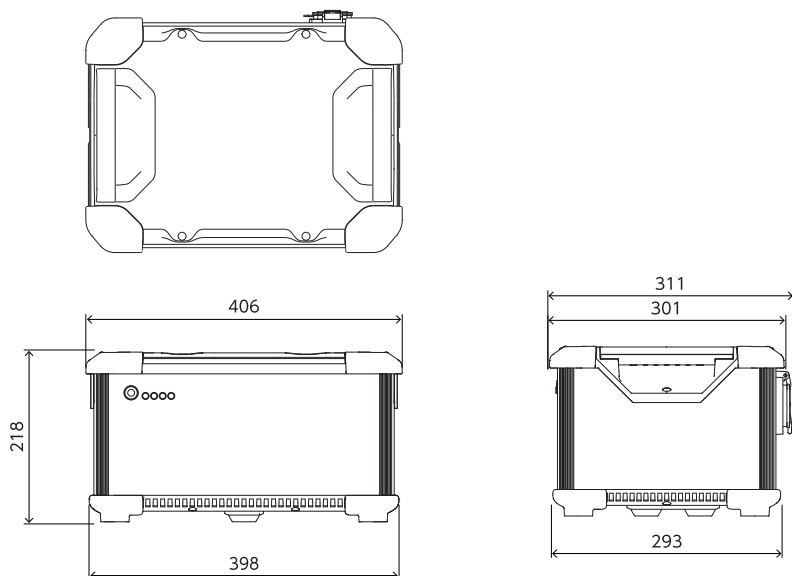
- | | | | |
|------------|---------------|-----------------|------------|
| ●インバーター 1台 | ●充電ケーブル 1本 | ●バッテリー接続ケーブル 1本 | ●安全のしおり 1部 |
| ●バッテリー 1台 | ●シガー充電ケーブル 1本 | ●アダプター収納袋 1個 | |

サイズ

■LPE-EX3200(インバーター) サイズ(単位: mm)



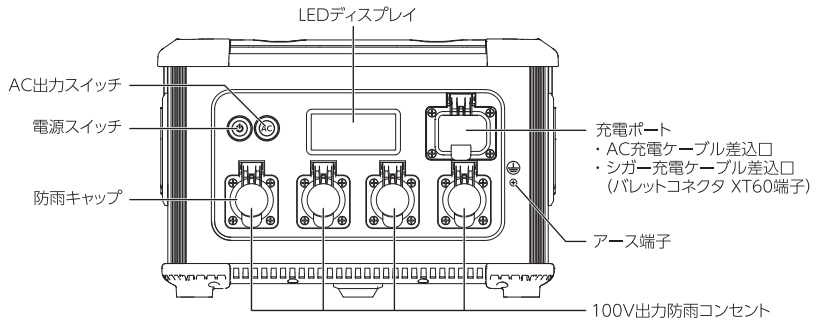
■LPE-EX3200B(バッテリー) サイズ(単位: mm)



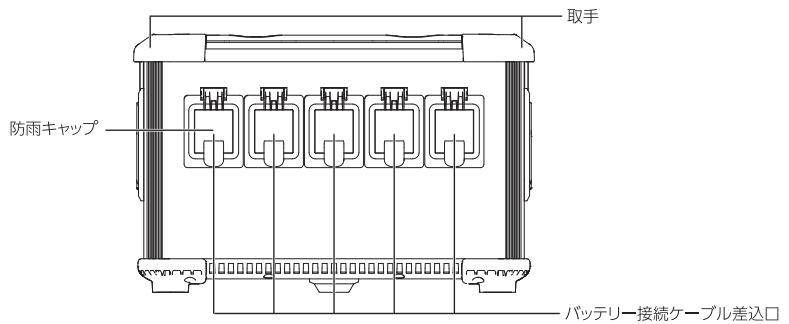
各部の名称

■LPE-EX3200(インバーター)

【正面】

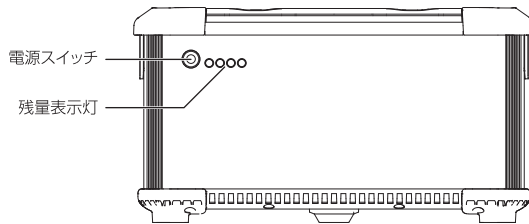


【背面】

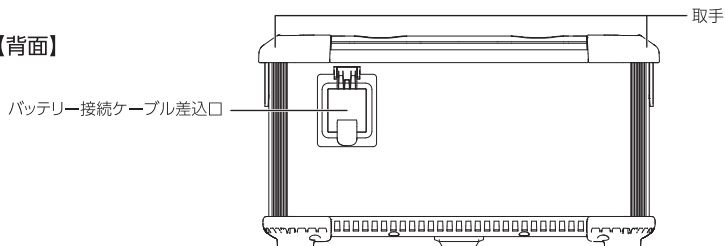


■LPE-EX3200B(バッテリー)

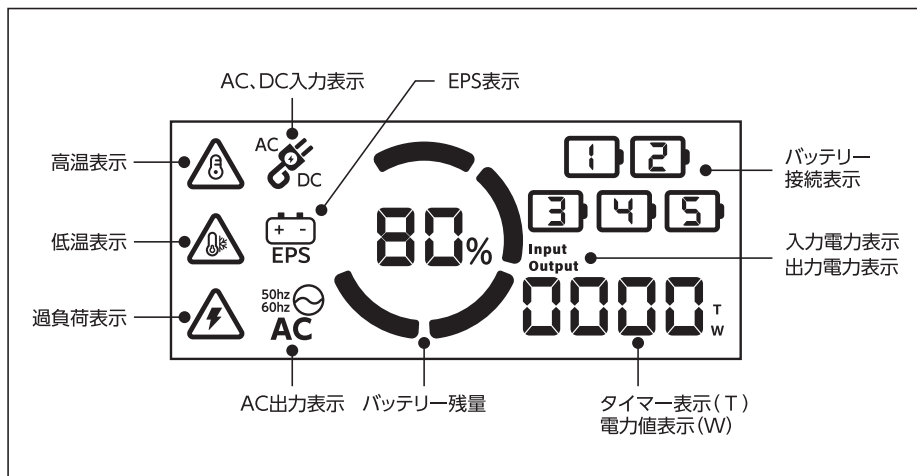
【正面】



【背面】



LEDディスプレイの表示



バッテリー残量

充電中は、数値 (%) が上昇し、右回りにゲージが増えていきます。
放電中は数値 (%) が低下し、左回りにゲージが減っていきます。
※バッテリー残量はあくまでも目安となり、実際とは差異が生じる場合があります。



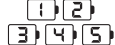
AC、DC入力表示

AC、またはDC電源で充電されていることを示します。



EPS表示

EPS機能が作動中であることを示します。
※EPS機能については【使用方法】の(EPS機能とは)をご確認ください。



バッテリー接続表示

バッテリーの接続を示します。



INPUT
OUTPUT

バッテリー充電時の入力電力量を示します。
使用している出力電力量を示します。



タイマー表示

設定されているタイマーの時間を示します。



過負荷保護表示

電力の使い過ぎにより、過負荷保護が働いていることを示します。
※接続機器の消費電力をご確認ください。



低温保護表示

バッテリー温度が低温になり、保護が働いていることを示します。



高温保護表示

バッテリー温度が高温になり、保護が働いていることを示します。



AC出力表示

出力中の周波数(50Hz/60Hz)を示します。

充電方法

⚠️ ご注意

※本製品は、インバーターとバッテリーを組み合わせるセット商品です。

インバーターまたはバッテリー単体では使用できません。

※インバーターとバッテリーを接続するときは、必ずバッテリーの電源を「オフ」にしてください。

充電を開始するときは、必ずバッテリーの電源を「オン」にしてください。

※お買い上げ時は、バッテリーが十分に充電されていません。**ご使用前に必ず充電してください。**

※バッテリーは使用していない状態でも少しずつ放電します。ご使用前に充電し、ご使用後も必要に応じて充電してください。

放電した状態で長期間放置すると、過放電によりバッテリーが劣化し、充電できなくなるおそれがあります。

【バッテリーを2台以上接続の場合】

※残量の少ないバッテリーから優先して充電します。

バッテリー全体の残量が均等になると、すべてのバッテリーを同時に充電します。

※充電中はディスプレイに、バッテリー全体の平均残量(%)が表示されます。

(表示される数値は目安であり、実際の残量とは多少異なる場合があります。)

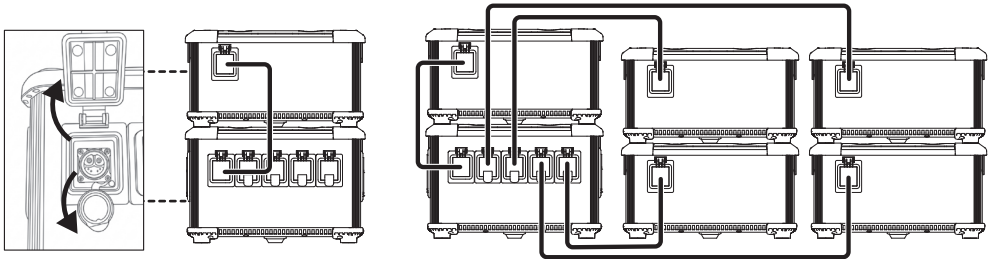
※バッテリーを段積みする場合は、2段までとしてください。3段以上に積み重ねると、転倒や落下などの危険があります。

■インバーターとバッテリー接続

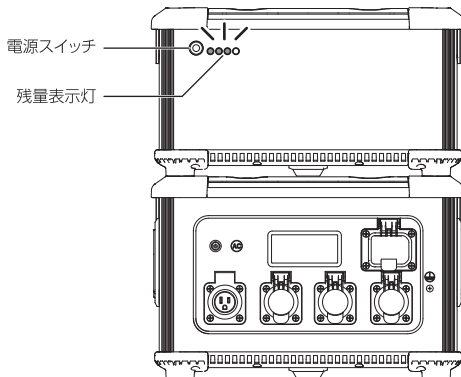
1.インバーターとバッテリー背面の、防雨キャップを開け、付属のバッテリー接続ケーブルを差し込んでください。

※各ケーブルは「カチッ」と音がするまで差し込み、確実に接続されていることを確認してください。

【5台接続例】



2.バッテリーの電源を「オン」にしてください。残量表示灯が点灯します。

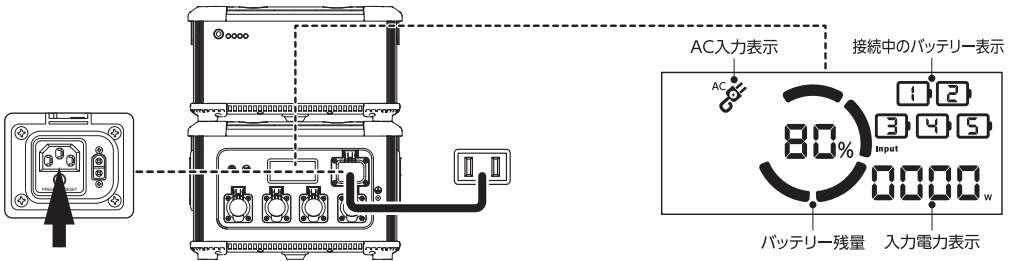


3.次ページの「充電方法」を参考に、状況に応じた方法で充電してください。

充電方法

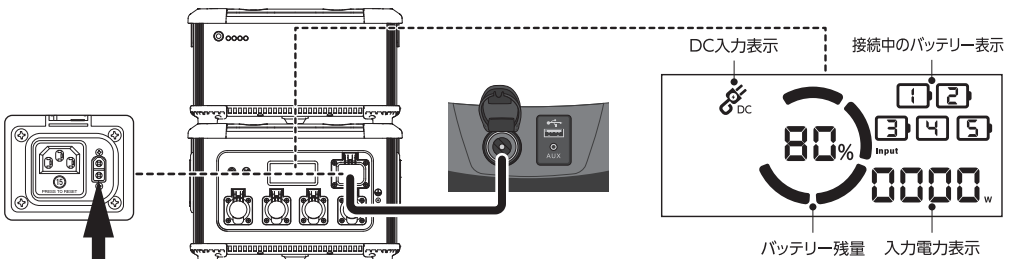
■AC充電

- 付属の充電ケーブルをインバーターのAC充電ポートに接続し、プラグをコンセントに接続してください。
LEDディスプレイのバッテリー残量が点滅し、充電が開始されます。



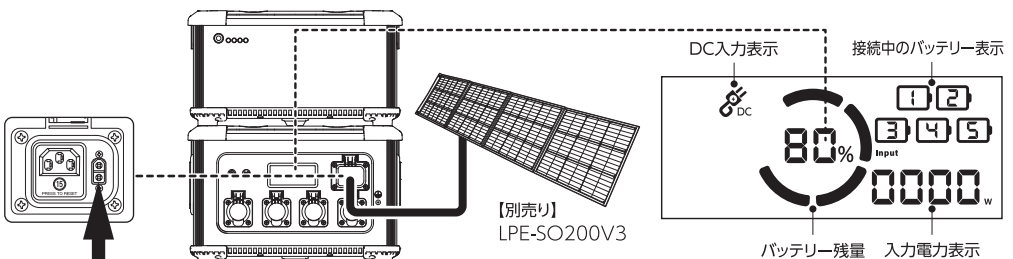
■シガーソケット充電

- 付属のシガー充電ケーブルをインバーターのDC充電ポートに接続し、プラグを車のシガーソケットに差し込んでください。
バッテリーの残量表示灯が点灯し、充電が開始されます。
- ※本製品は、12Vおよび24Vの車のシガーソケットから充電できます。
※シガー充電ケーブルを使用する際は、ケーブルが車のシガーソケットにしっかりと接続されていることを確認してください。
※車のバッテリー電圧が不足すると、正常に充電できない場合があります。必ず車のエンジンをかけた状態でシガー充電を行ってください。
※誤った操作による本製品および車の故障・破損については、当社では責任を負いかねます。
※充電時間は、使用するバッテリーの容量や残量などにより異なります。



■ソーラー充電

- ソーラーパネルを接続してください。バッテリーの残量表示灯が点灯し充電が開始されます。
- ※季節・天候・太陽との向きによりソーラーパネルの発電量は大きく変動します。
※充電時間の目安:14時間以上(晴天時)



使用方法

⚠️ ご注意

※使用する際は、必ずバッテリーの電源をオンにしてください。

【バッテリーを2台以上接続の場合】

※残量の多いバッテリーから優先して消費します。バッテリー全体の残量がほぼ均等になると、残量のバランスを保ちながら、すべてのバッテリーを同時に消費します。

※使用中はディスプレイに、各バッテリーの残量とバッテリー全体の残量を平均した数値(%)が順に切り替わって表示されます。(表示される数値は目安であり、実際の残量とは多少異なる場合があります。)

※バッテリーを段積みする場合は、2段までとしてください。3段以上に積み重ねると、転倒や落下などの危険があります。

■出力方法

1.バッテリーとインバーターを、バッテリー接続ケーブルで接続してください。

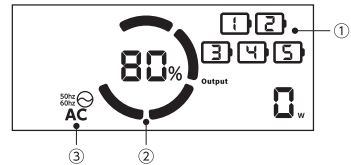
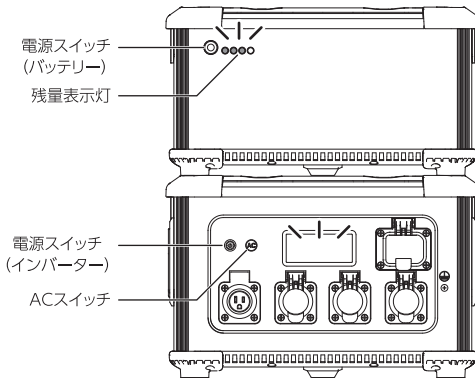
2.バッテリーの電源をオンにしてください。残量表示灯が点灯します。

3.インバーターの電源をオンにする、LEDディスプレイが点灯し、スタンバイ状態になります。

※スタンバイ状態で一定時間操作がない場合、LEDディスプレイが消灯し、手順「2.」の状態に戻ります。

使用する際は、再度手順「3.」の操作を行い、スタンバイ状態にしてください。

4.ⓐACスイッチを押すと給電可能な状態になります。



①：接続中のバッテリーが表示されます。

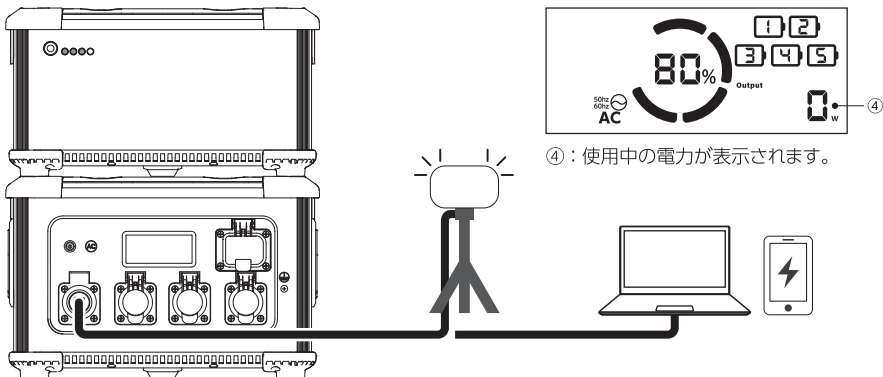
②：現在のバッテリー残量が表示されます。

③：設定中の周波数が表示されます。

※「3.」のスタンバイ状態で、ⓐACスイッチを長押しすると、周波数(50Hz/60Hz)が切り替わります。使用する機器の周波数にあわせて切り替えてください。

5.使用する機器を接続してください。

接続機器への給電が開始され④に使用中の電力が表示されます。



使用方法

■タイマー設定

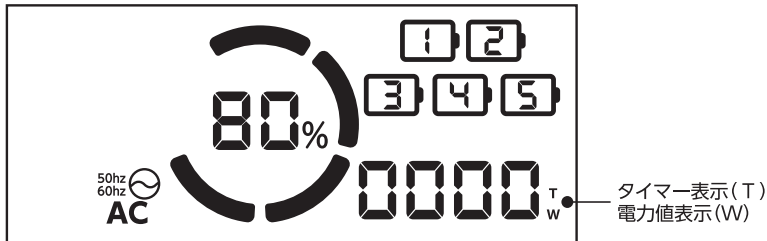
- ・本製品は、24時間サイクルタイマーを搭載しています。
設定した時刻を起点に24時間を1周期として、運転と停止を繰り返します。

【24時間サイクルタイマーの動作例(5時間設定の場合)】



1. バッテリーとインバーターの電源をオンにします。
2. インバーターのⒶ ACスイッチを押し、給電可能な状態にします。
3. インバーターのⓈ 電源スイッチを長押しします。
LEDディスプレイの表示が「W」から「T」に切り替わり、「T」が点滅します。
4. 「T」が点滅している間にⓈ 電源スイッチを押すと、設定時間が「1～23」の順に切り替わります。
任意の運転時間に設定してください。
5. 操作せずにしばらく待つと設定が完了し、LEDディスプレイに「W」と「T」が交互に表示されます。

※インバーターまたはバッテリーの電源をオフにすると、タイマー設定は解除されます。
引き続きタイマーを使用する場合は、再度設定してください。

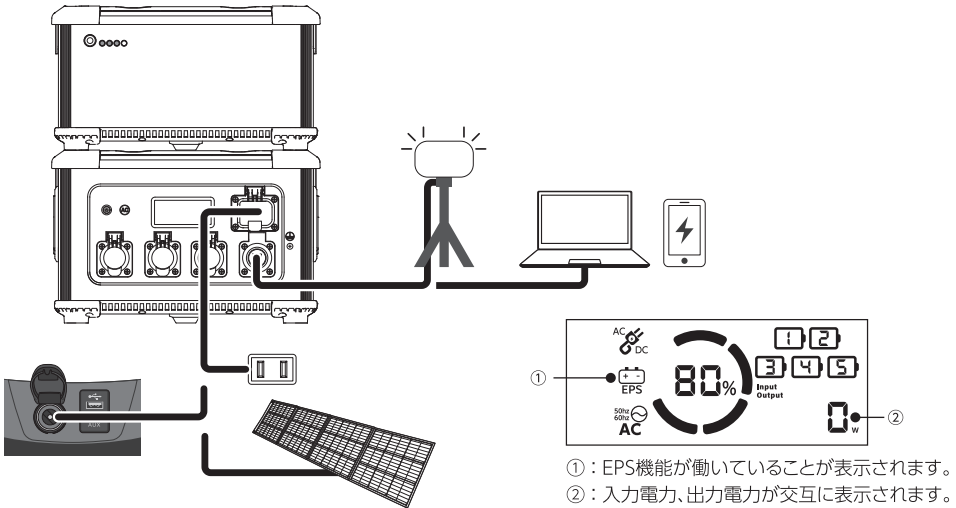


使用方法

■パススルー機能について

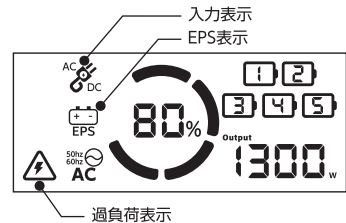
- 本製品は、バッテリーを充電しながら接続機器に給電できる「パススルー機能」を搭載しています。
- ※接続機器の消費電力が大きいほど、充電時間が長くなります。

1. 本製品が充電状態のまま、使用する機器を接続してください。
 2. バッテリーの電源をオンにしてください。残量表示灯が点灯します。
 3. インバーターの電源をオンにすると、スタンバイ状態になり、LEDディスプレイが点灯します。
- ※一定時間操作がない場合、またはAC給電を行わない場合は、LEDディスプレイが消灯し、手順「2.」の状態に戻ります。
- 使用する際は、再度手順「3.」の操作を行い、スタンバイ状態にしてください。
4. ACスイッチを押すと給電可能な状態になります。



⚠ パススルー使用時のご注意

- ※消費電力が約1200Wに達すると、消費電力が大きく、バッテリーの充電に回す余力がなくなるため、LEDディスプレイには「Output」のみが表示されます。
- ※消費電力が約1300Wに達すると、過負荷マークが表示され、パススルー機能が停止し、バッテリー給電に自動で切り替わります。「入力表示」「EPS表示」「過負荷表示」が点滅します。
- ※バッテリー給電に切り替わった場合、自動ではパススルー状態に戻りません。バッテリー給電が継続されるため、バッテリーの充電切れにご注意ください。
- ※パススルー状態に戻す場合は、消費電力を1200W以下に調整し、インバーターの電源を手順「3.」「4.」に従って入れ直してください。



使用方法

■EPS機能について

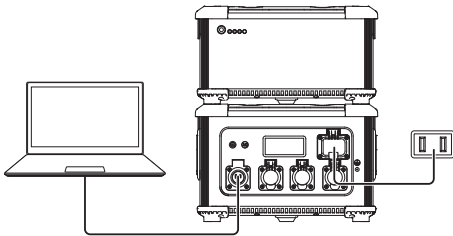
- ・本製品を家庭用コンセントに接続した状態で、電化製品などを本製品に接続すると、コンセントからの電力がバッテリーを介さずに電化製品へ供給されます。
- ・停電などにより家庭用コンセントからの電力供給が停止した場合、【6ms】で本製品のバッテリーからの電力供給に自動で切り替わります。

※ただし、本製品のEPS機能は無停電電源装置(UPS)とは異なるため、0msでの切り替えには対応していません。

※データサーバーやワークステーションなど、完全な無停電電源(UPS)が必要な機器には使用しないでください。

- ・EPS機能を使用する際は、事前に十分なテストを行い、お客様ご自身の責任においてご使用ください。
- ・複数の機器を同時に使用している場合、EPS機能が作動してバッテリー給電に切り替わると、過負荷保護機能が作動する可能性があります。EPS機能を使用する際は、機器を1台のみ接続することを推奨します。

※誤った使用方法により、接続機器が正常に動作しない、データが消失するなどの損害が発生した場合、当社では責任を負いかねます。



■EPS使用時の注意

※必ず接続機器の周波数と、出力周波数を合わせてご使用ください。

※負荷が1300Wを超えた場合は、バッテリー給電に自動で切り替わります。

保護機能について

■短絡保護機能

●短絡が発生すると、AC出力を停止し、「AC出力表示」と「過負荷保護表示」が点滅します。

- ・復帰方法…… ①短絡の原因となる接続機器を取りはずしてください。
②ⒶACスイッチを押して出力を「オフ」にし、**十数秒間空けてから**再度「オン」にしてください。
※「オン・オフ」の間隔が短いと、再度「AC出力表示」と「過負荷保護表示」が点滅し、復帰しない場合があります。

■過負荷保護機能

●AC出力が約1800Wに達すると、AC出力を停止し、「AC出力表示」と「過負荷保護表示」が点滅します。

- ・復帰方法…… ①過負荷の原因となった接続機器を取り外してください。
②ⒶACスイッチを押して出力を「オフ」にし、**約15秒間空けてから**再度「オン」にしてください。
※「オン・オフ」の間隔が短いと、再度「AC出力表示」と「過負荷保護表示」が点滅し、復帰しない場合があります。

■高温保護機能・低温保護機能

●バッテリーが高温または低温になると、「高温保護表示」または「低温保護表示」が点灯します。

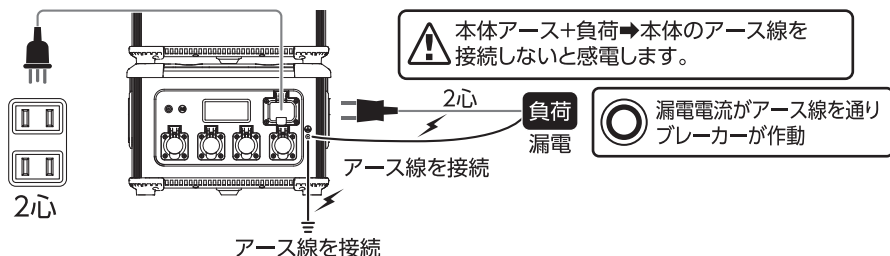
また、接続箇所の「バッテリー表示」が点滅し、出力が停止します。

※**バッテリーを複数台接続している場合は、保護が働いていないバッテリーで出力を続けます。**

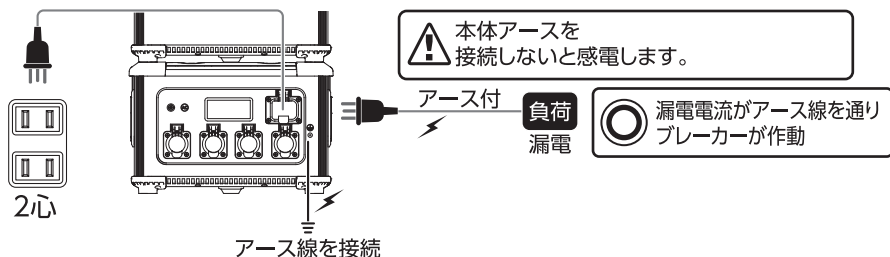
- ・復帰方法…… ①温度異常の原因となるものがある場合は、取り除いてください。
②バッテリーの温度が正常に戻ると、「保護表示」が消灯し、「バッテリー表示」が点灯に戻ります。
③対象のバッテリーのⒺ電源スイッチを「オフ」→「オン」にすると、復帰します。
※**安全のため温度保護が働いたバッテリーは自動復帰しません。**
LEDディスプレイの表示が正常に戻ったあとは、手順③の操作を行い、**手動で復帰**させてください。

アース端子の必要性【パススルー時】と接続方法

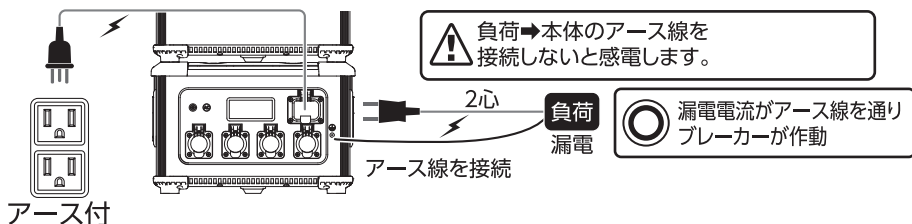
1. 電源コンセント 2心 (II) + 負荷 2心 (II)



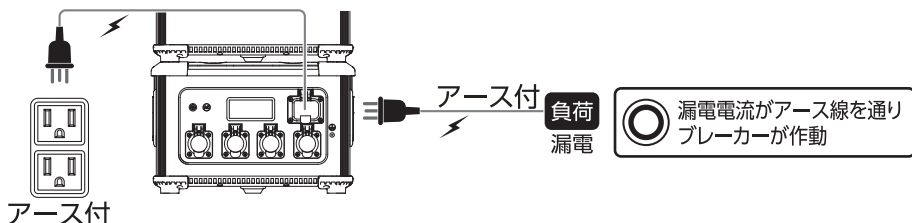
2. 電源コンセント 2心 (II) + 負荷アース付 (!)



3. 電源コンセント アース付 (!) + 負荷 2心 (II)

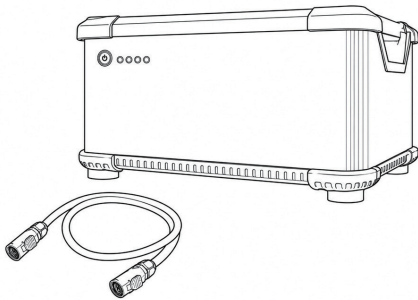


4. 電源コンセント アース付 (!) + 負荷アース付 (!)



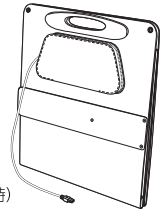
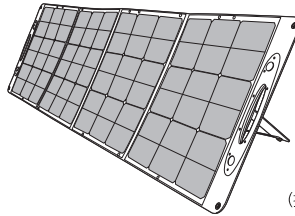
拡張バッテリーのみ LPE-EX3200B

- 付 属 品 バッテリー接続ケーブル



ソーラーパネル200W LPE-SO200V3

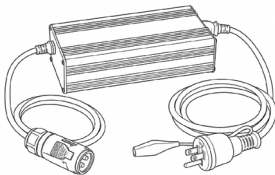
- 最大出力 40V/200W
- 出力端子 バレットコネクタ
- 充電時間 13時間以上
- コード長 2.9m
- サ イ ズ 約2320×545×50mm (使用時)
約545×617×75mm (折りたたみ時)
- 質 量 約6.8kg
- 付 属 品 アンダーソンコネクタ変換ケーブル



(折りたたみ時)

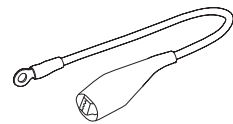
拡張バッテリー用充電器 LPE-EX-AD

※インバーターを使用せずにバッテリー単体での充電が可能です。



リペアボッキン用アースクリップ EC-RE175L

※断線したアース線の取替えが簡単にできます。



アフターサービスと保証

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を必ず使用してください。純正部品以外を使用すると、故障や事故の原因になるばかりでなく、クレームおよび修理のご依頼などは、一切お受けできなくなり、すべての保証の対象から外れる場合もございます。(他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。)

〈修理について〉

修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店にお申し付けください。

●製品改良のため、仕様などを予告なく変更することがあります。

〈発売元〉  **日動工業株式会社**
NICHIDO IND.CO.,LTD

□本社	〒572-0076	大阪府寝屋川市仁和寺本町1-3-22	TEL.072(803)6905(代)	FAX.072(803)6908
□札幌営業所	〒003-0822	札幌市白石区菊水元町二条2-3-1	TEL.011(871)0577(代)	FAX.011(871)0579
□東京営業所	〒135-0016	東京都江東区東陽4-8-14	TEL.03(5683)4010(代)	FAX.03(5683)4021
□名古屋営業所	〒454-0848	名古屋市中川区松ノ木町1-3-2-2	TEL.052(351)3666(代)	FAX.052(352)7558
□大阪営業所	〒572-0076	大阪府寝屋川市仁和寺本町1-3-22	TEL.072(803)6905(代)	FAX.072(803)6908
□福岡営業所	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南4-17-32	TEL.092(474)7955(代)	FAX.092(474)6329